

現場の理解 (ヨシュア 2:23-24)

クリスチャンは、ひとりひとり現場灯台として派遣されている貴重な者です。神様はすでに現場に祝福を備えられているので、現場を胸に抱いて祈れば、現場灯台の祝福を味わうことができます。現場を神様の目で見ると、現場を正しく理解でき、胸に抱くことができます。カナンの手前まで来たイスラエルは、カナン偵察に入ったのですが、そのときは現場のうわべだけを見て、不信仰に陥り、荒野を回ることになりました。今日の聖書箇所は、40年過ぎて2度目にヨシュアが偵察を送った場面です。偵察に入った斥候が、うわべではなく、中身を確認して、約束の地に間違いないと報告したとき、現場征服の門が開かれました。このように**現場を正しく理解することが現場で門が開かれる鍵**になります。

先に失敗した見方を考えてみましょう。現場は、**うわべだけ見ると難攻不落**に見えます。日本の現場は、長い間、宗教に支配され、定着していて、それをベースにした偶像崇拜が伝統となって根を下ろしているところ



です。宗教や偶像崇拜が、違和感なく文化となって、ひとりひとりの生活に入って普遍化して、システム化されています。それらすべてが合わさってセメントのように固まっている思想を持っています。人間中心主義が強く、「和」の思想が固まっていて、和に反対するものは敵になるほどです。そこに島国根性が加わって偏った考えがあります。また、日本人は誠実であり、世界中が称賛するほどマナーのレベルも優れています。外見を見ると、成功して発展していて、技術もトップクラス、経済大国でもあります。大戦後、自分たちががんばってここまで成功したという自信にもあふれています。そこで、クリスチャンである私たちが、どのようにできるかと思うでしょう。これがカナンへの第一次偵察が失敗した目です。

実際に現場の中身を見る必要があります。カナンは、実際には「心がしなえて、恐怖にふるえて」

いました。**日本の現場も実際の中身は、悪魔が作った落とし穴にはまっている**のです。神様がない自分中心、お金さえあればと思い、成功を追い求めています。これらは悪魔の落とし穴で、神様がないので、幸せでも成功でもなく、うそでしかなく、崩れてしまうものです。この中身をみことばを握って確認しましょう。基準は自分、お金、成功なので、悪魔の奴隷として生きるしかありません。目的があっても、偶像崇拜、宗教、占い、お札、お守り、運勢から逃げられず、悪魔の戦略によって滅ぼされるだけです。悪魔の落とし穴なので、抜け出すことはできず、運命の中で悲しい人生になります。どんなにもがいても、絶対に幸せはなく、まことの安らぎとは無縁です。ほんとうは、みんな不安なのです。それを目標やキャッチコピーでごまかしています。どんな仕事でも、ほんとうの意味では人生の生きがいはなく、希望も持つことができません。ほんとうの希望など持てない運命に縛られているだけです。それが、家系を流れて受け継がれていくので、次の世代も同じ運命に捕らわれていきます。**現場には、絶対に福音が必要です**。神様が福音を持って、現場を愛して、助けようとしておられます。

現場には福音以外、キリスト以外希望はなく、キリストが絶対に必要だと確認できるようにしてくださいと祈りましょう。

そして、**現場にはかならずたましいが備えられています**。ラハブは、イスラエルの斥候を送り出すときに、自分と家族を助けてくださいと頼みます。そのように福音を聞きたましいが備えられているのです(使徒 13:48)。私たちがするのではなく、神様が備えられています。他の何かで満たされない、真理を求める人と出会い、その人が福音を聞くとき通じます。人生の解答はキリストだと、ルデヤのように聞き入れるように神様がしてください(使徒 16:14)。ペテロが福音のメッセージを語ったとき、どうしたら良いのでしょうかと尋ねたよう

に、そのようなたましいが備えられています(使徒 2:37)。私たちが労苦していない収穫があるとされています。福音の価値に目覚める人が備えられているのです。

福音の価値が分かるなら、自分の理論、理由なく、無条件にイエスに従うようになります。悪魔のしわざを打ちこわすために来られたキリストの御名以外、悪魔の落とし穴、奴隷、滅びの運命からは出られないと、イエスの御名の価値をわかります。福音の価値に目覚めるひとりを通じて、エリコを崩す働きをはじめられるのが、神様の方法です。福音の価値を知る答えにあずかり、その価値が通じるひとりのたましいに出会うと現場でスパークが起き、現場の暗やみが崩れます。その勝利の結果を持って、ひとりひとりが現場に遣わされていることを覚えましょう。

世界福音化237か国に目を向け、そのために47都道府県に教会開拓、国内宣教師派遣のた

めに召されています。それは、私の現場からはじまります。現場灯台という契約を握って、自分を振り返りましょう。イエス様より大きなことができ(ヨハネ 14:12)、イエス様と同じことが十分できると約束してくださいました(マルコ 16:17-18)。聖霊が臨まれているので、聖霊に満たされれば神様のみわがが現れ、証人としての人生をまっとうできます(使徒 1:8)。そのために天と地のいつさいの権威を持ったイエス様がともにおられ、三位一体の神様とともにいる奥義を弟子に伝え、次に伝えるようにすることができます(マタイ 28:16-20)。現場灯台の祝福を握って、現場を理解して祈りましょう。現場を見る正しい目が開かれ、みことばどおり確認できるように、現場が宣教地だと告白できるように、いまの現場に備えられているたましいとの出会いが与えられるようにと祈りましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 2:23-24 現場の理解

なるほど/ 信者が派遣されている現場は、外見では難攻不落のエリコ城だが、実際その中身は、心がしなえて恐怖に震える、それで絶対福音が必要なことだと確認され、その現場には必ず魂が用意されていることを信じて祈るとき、現場灯台の祝福が実現されることを見るようになる。

ならば/ 現場の外見にだまされず、現場を見る正しい目が開かれることを祈ろう。現場が宣教地に告白され、備えられた魂との出会いが許されるように。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年4月14日)

1部礼拝：人間にだけくださるまことの力(使2:41-42)

福音の中で私たちの運命を変えた神様に感謝します。神様とともにいる祝福を味わいながら、サタンの勢力を打ち砕かれたキリストを味わう時間になりますように。今日、私の無能が変わる日になりますように。みことばの流れに従って、すべての信徒を尊く見る目を持ち、時間ごとに救いの祝福を味わい、祈りの中で世の中に勝つ力を回復しますように。今日、私の未来が変わる日になりますように。未来を変える契約を握って、信仰で決断して勝利する日になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝：世の中を変えた人々(使2:1-13)

私たちの力と方法ではなく、神様の力と方法で世界宣教をすることだと悟らせた神様に感謝します。まことの福音の奥義、まことの祈りの奥義、まことの伝道の奥義を持って、初代教会のように世界を生かしますように。キリスト、神の国、聖霊の満たしという答えを持って、あらかじめ答えを受けて、光の経済を持って、教会と現場と世界を生かしますように。だれもできないことをするみわがが起きますように。神様がくださるより大きなビジョンを見る一週間になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。